

自分のゴールをめざして！

校長 岩田 明正

まだまだ不安は残っているものの、学校の様々な行事が変則的ながらも行うことができるようになってきました。先の学校だよりでお伝えした運動会もそうですし、その1週間後に行われた6年生の修学旅行も無事終えることができました。その他にも他学年との縦割り活動が再開し、遠足、体験活動なども行われ、少しずつコロナ禍前の状態に戻しながら学習活動を行っております。

そんな子どもたちの活動の様子を、廊下を歩きながら見て回るのが楽しみなのですが、ある日、2年生の教室前の廊下を歩いていると、「〇〇のゴール」という掲示物が目にとまりました。〇〇には自分の名前が入ります。これは子どもたちが、なりたい自分を考え、それをゴール（目的）としたとき、そこに到達するためにはどうしたら良いか、何が必要かというもの（目標）が図で表されているものです。

よく、目的達成のために目標を立てようとする、その言葉だけが考えられ、どうしたらその目標を実現できるのかぼやけてしまい、結局、ゴールから遠ざかってしまうことがよくあります。私も成績を良くする目的のために「勉強を頑張る」という目標を立て、具体的に何をどうするか考えないで、結局、まったく変わらず…なんてことがよくありました。なるほど、「自分のゴール」のように具体的な行動、細かな到達の目安を考えると達成までの道筋がとてもわかりやすく頑張れるのだと、しばらく、この掲示物に見入ってしまいました。

細やかな目標といえば、先日メジャーリーグでMVPに輝いた大谷翔平選手も、高校の時からこのような明確な目標達成シート（マンダラチャート）にびっしりと具体目標を書き込み、実行しているというのは有名な話です。また、他のアスリートの話題にも、よく小学生のときから「〇〇歳までに世界大会に出る」といった目標設定をしっかりと行っていたという話が出てきます。これは、目的と目標をしっかりと定め、はっきりと目に見える形で示す（可視化する）ことが、その人が成すべきものに向かい、モチベーションをもち続けるためにとっても重要だということを表しています。

何を頑張るのか、何に向かって努力するのかをはっきり持ち、やるべきことがわかったらそれを実際に行う。そして継続して取り組むことが大切なのです。

自分の到達点をしっかりと定め、粘り強く実現に向け取り組む。私はぜひ子どもたちにそのような力を身につけてもらいたいと思っています。同時に、自分自身にも目的達成のための明確なビジョン（可視化）が必要だと強く感じました。廊下を歩き、子どもたちの掲示物からあらためて考えさせられる。まだまだ学ぶことは多いですね。

11月 各学年の活動の様子

1年生「初めての遠足」

初めての遠足は、2年生と一緒に舞岡公園へ行きました。公園までの道のりでは、「川に魚がいるよ」「きれいな色の葉っぱがあるよ」と話しながら最後まで元気に歩くことができました。入学したころに比べると、大きく成長したことを感じました。また、クラスやマイ活動の2年生との遊びでは、「だるまさんがころんだ」や鬼遊びなどを、のびのびと遊びました。



2年生「花さかクラブさんと一緒に」

いつも公園や駅前、舞岡小学校などを花でいっぱいにしてくださっている花さかクラブさんと一緒に、遊水地公園で花の苗やチューリップの球根を植えました。「何色の花が咲くかな？」と子どもたちも花の成長を楽しみにしています。機会があればお子さんと一緒に花壇を見に行ってみてください。



3年生「集めようPBCプロジェクト」

7月から総合的な学習の時間に、ペットボトルキャップを集める取り組みをしています。集まったキャップを数えたり、回収を呼びかけるポスターを作ったり、必要な活動をみんなで考えながら活動を進めています。集まったものをどうするか、これからの活動も楽しみです。



4年生「心の教育 バレエ鑑賞」

東京バレエ団による「ドン・キホーテの夢」を鑑賞してきました。バレエは基本的にセリフがありません。子どもたちは、「体だけであれだけ表現できるのかと、感動した。」「表情からも、気持ちが伝わってきました。」「すごく高く跳んでいてびっくりしました。」などと感想を話していました。



5年生「落語体験」

国語では、古典芸能について学習をしました。今回、横浜にぎわい座の方をお招きして、落語や太神楽を披露していただきました。

落語に初めてふれる児童も多く、毛氈や座布団を目の当たりにして興味・関心を抱きました。落語家さんの巧みな言葉かけや小道具の使い分けに感心し、落語の魅力や楽しさを感じていました。また、実際に落語を体験した児童は、落語家さんからのアドバイスをもらいながら、表現しました。



6年生「最高学年としてできること」

総合の学習で、「今まで学んだことを生かして、他の学年のお手伝いをしたい」という子どもたちの思いのもとに、他学年と学習を通じた交流を始めました。1年生では一緒に縄跳びの練習をしながら跳ぶコツを教えたり、2年生では休み時間かけ算九九を唱えるのを聞いてあげて、覚えるのを手伝ったりしています。6年間に学んだことを生かし、充実感や役に立てている喜びを感じながら、これからも他学年と一緒に楽しく活動していきます。



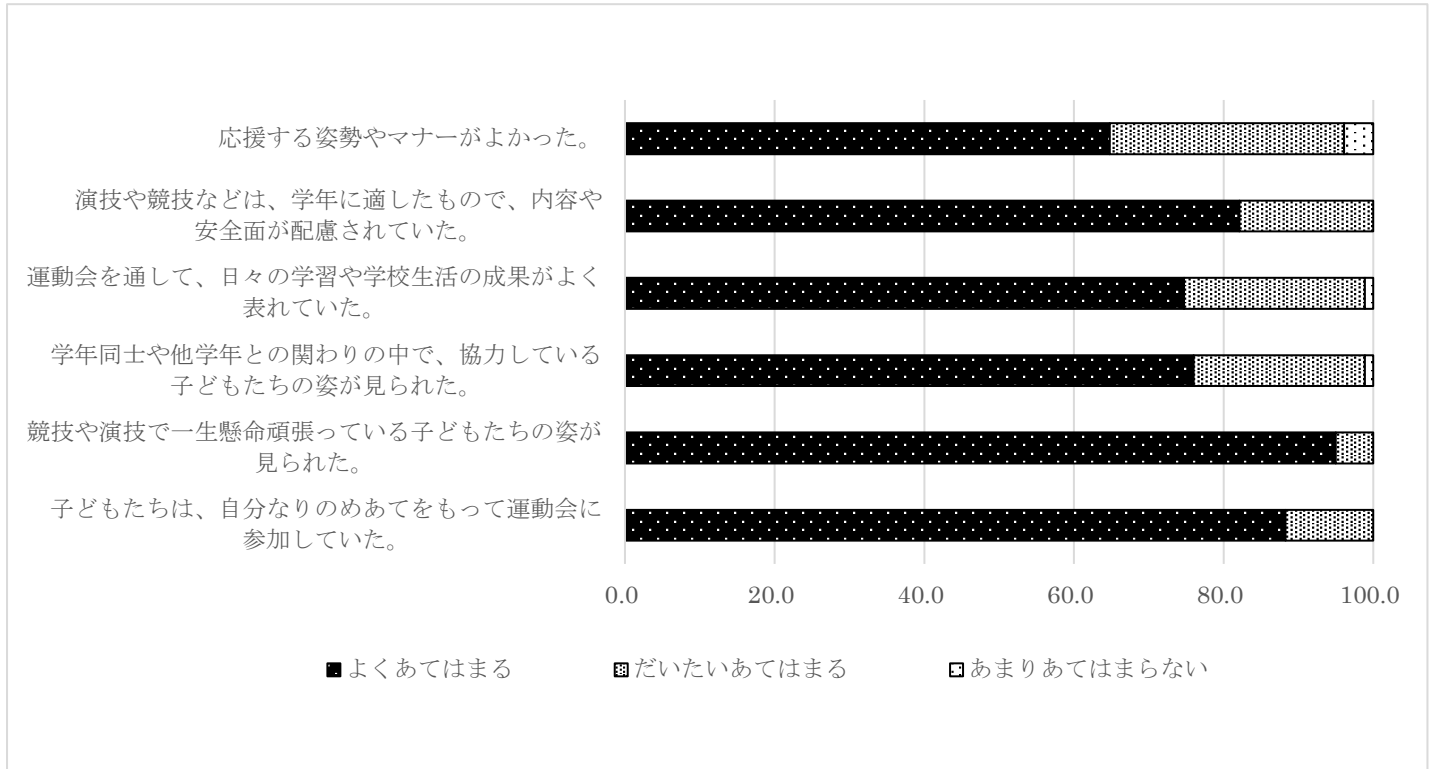
個別支援級「 サツマイモほり 」

4組の畑で育てていたサツマイモを、みんなで協力しながら収穫しました。苗から育てたサツマイモが、大きくなり驚いている姿や、喜んでいる姿が見られました。また、あまったツルをどうするか話し合い、リースにしようと考えました。サツマイモ料理もたくさん調べて、調理を楽しみにしていました。



【運動会アンケートの結果について】

11月の運動会では保護者の方々のご協力により、たくさんのアンケートをいただき、ありがとうございました。お寄せいただいた意見を基に、今後に生かしていきます。



〈お気づきの点〉

- ◎全学年一緒にできる縦割り綱引きができてよかった。
- ◎入れ替わりのアナウンスや、子どもたちがプラカードを持って観覧場所の交代を促していたため譲り合いができていた。
- ◎短期間の中で一生懸命練習に励み、子どもたちの成長が見られる運動会だった。
- △観覧スペースが限られている中、各家庭1名が守られていなかった。
- △徒競走の組が走る前に、現在の出走が何組かアナウンスがあるとよかった。

たくさんのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

